

平成27年度に経営指標において想定している畜産経営の詳細について

経営類型	肉用牛繁殖 繁殖雌牛50頭		【家族経営】
1 想定地域	北海道(空知)・畑又は水田		
2 経営規模	繁殖雌牛50頭(20頭からの規模拡大)		
3 経営の概況	(1) 家族構成 ①従事者:本人、妻(又は後継者) (2) 飼養頭数 総飼養頭数 97頭 ①繁殖雌牛50頭、②育成牛11頭 (3) 耕地面積 飼料畑15ha(借入なし) (4) 生産量 子牛出荷頭数 43頭		
4 技術体系	(1) 飼養管理方式 連動スタンション・群飼 (2) 飼料給与方式 分離給与 (3) 排せつ物処理 ふん尿混合堆肥化(堆肥舎利用)		
5 飼料生産	(1) 経営内飼料自給率 70%(粗飼料給与率80%) (2) 生産・利用体系 ①生産 :混播牧草(8ha) コントラクターによる作業受託、公共牧場利用 ②利用 :サイレージ、乾牧草、WCS (3) 作付実面積 15ha (延べ面積) (15ha)		
6 施設・機械装備	(1) 建物 牛舎293㎡(新設)、195㎡(既設)、パドック68㎡(新設)、45㎡(既設)、 たい肥舎94㎡ (2) 機械 フロントローダー、トラクター、自動給餌機(牽引式) (3) その他 パソコンを利用した個体・経営管理		
7 生産性指標	(1) 生産技術 ①分娩間隔 12.5ヶ月 <現状(参考)> <全国平均 13.2ヶ月> ②更新年次 7産 (2) 生産コスト 販売子牛1頭当たり 314千円 <全国平均 432千円> (3) 労働生産性 経産牛1頭当たり 50時間 <全国平均 106時間(直接労働時間)>		
8 労働時間	総労働時間:2,790時間 (1) 労働構成別 ①主従事者2,000時間×1、②補助従事者790時間 ③雇用0時間(他 コントラクター 98時間) (2) 作業体系別		
9 経営指標	(本業)	(複合)	(合計)
(1) 粗収入(販売額)	1,600万円 (383千円/頭×43頭)	300万円	1,900万円
(2) 経営費	1,100万円 (内訳):①飼料費600万円 ②建物農機具費100万円 ③人件費100万円等	200万円	1,300万円
(3) 所得	600万円 <全国平均 130万円>	100万円	700万円
(4) 主たる従事者の所得	500万円	100万円	600万円
10 その他 (経営の特徴等)	・1年1産の実現等効率的な飼養管理を図りつつ、他作目との複合により安定化を図る経営。 ・飼料作付面積の増加に当たっては、コントラクター及び公共牧場の利用によって新たな投資及び飼料生産労働時間を抑制。 ・家畜排せつ物については、堆肥化処理を行い、経営内還元。 ・		

平成27年度に経営指標において想定している畜産経営の詳細について

経営類型	肉用牛繁殖 繁殖雌牛100頭	【家族経営】
1 想定地域	北海道(十勝)・畑主体	
2 経営規模	繁殖雌牛100頭(30頭からの規模拡大)	
3 経営の概況 (1) 家族構成 (2) 飼養頭数 (3) 耕地面積 (4) 生産量	①従事者: 本人、妻(又は後継者) 総飼養頭数 191頭 ①繁殖雌牛100頭、②育成牛21頭 飼料畑45ha(うち23ha借入) 子牛出荷頭数 88頭	
4 技術体系 (1) 飼養管理方式 (2) 飼料給与方式 (3) 排せつ物処理	連動スタンション・群飼 分離給与 ふん尿混合堆肥化(堆肥舎利用)	
5 飼料生産 (1) 経営内飼料自給率 (2) 生産・利用体系 (3) 作付実面積 (延べ面積)	60%(粗飼料給与率80%) ①生産 : 混播牧草(27ha)ほか コントラクターによる作業受託 ②利用 : サイレージ、乾牧草 45ha (45ha)	
6 施設・機械装備 (1) 建物 (2) 機械 (3) その他	牛舎538㎡(新設)、538㎡(既設)、パドック113㎡(新設)、113㎡(既設)、 たい肥舎374㎡ フロントローダー、トラクター、自動給餌機(牽引式)、哺乳ロボット。 パソコンを利用した個体・経営管理。	
7 生産性指標 (1) 生産技術 (2) 生産コスト (3) 労働生産性	<現状(参考)> ①分娩間隔 12.5ヶ月 <全国平均 13.2ヶ月> ②更新年次 7産 販売子牛1頭当たり 284千円 <全国平均 432千円> 経産牛1頭当たり 30時間 <全国平均 106時間(直接労働時間)>	
8 労働時間 (1) 労働構成別 (2) 作業体系別	総労働時間: 3,000時間 ①主従事者2,000時間×1、②補助従事者1,000時間 ③雇用0時間(他 コントラクター 289時間)	
9 経営指標 (1) 粗収入(販売額) (2) 経営費 (3) 所得 (4) 主たる従事者の所得	3,300万円 (383千円/頭×88頭) 2,350万円 (内訳): ①飼料費1,100万円、②建物農機具費200万円、 ③人件費150万円 等 1,100万円 <全国平均 130万円> 950万円	
10 その他 (経営の特徴等)	・地域の立地条件を活かして規模を拡大し、効率的な群飼方式により1頭当たり労働時間を低減し、生産性の向上、ゆとりを実現する経営。 ・飼料作付面積の増加に当たっては、コントラクターの利用によって新たな投資及び飼料生産労働時間を抑制。 ・家畜排せつ物については、堆肥化処理を行い、経営内還元。 ・	

平成27年度に経営指標において想定している畜産経営の詳細について

経営類型	肉用牛繁殖 繁殖雌牛30頭		【家族経営】
1 想定地域	都府県(東北)・水田		
2 経営規模	繁殖雌牛30頭(10頭からの規模拡大)		
3 経営の概況	(1) 家族構成 ①従事者:本人、妻(又は後継者) (2) 飼養頭数 総飼養頭数 59頭 ①繁殖雌牛30頭、②育成牛7頭 (3) 耕地面積 飼料畑16ha(うち14ha借入) (4) 生産量 子牛出荷頭数 26頭		
4 技術体系	(1) 飼養管理方式 連動スタンション・群飼 (2) 飼料給与方式 分離給与 (3) 排せつ物処理 ふん尿混合堆肥化(堆肥舎利用)		
5 飼料生産	(1) 経営内飼料自給率 70%(粗飼料給与率80%) (2) 生産・利用体系 ①生産 :混播牧草、水田放牧利用(11ha)ほか ②利用 :サイレージ、乾牧草 (3) 作付実面積 16ha (延べ面積) (16ha)		
6 施設・機械装備	(1) 建物 牛舎115㎡(新設)、98㎡(既設)、パドック45㎡(新設)、23㎡(既設)、 たい肥舎52㎡ (2) 機械 フロントローダー、トラクター (3) その他 パソコンを利用した個体・経営管理		
7 生産性指標	(1) 生産技術 ①分娩間隔 12.5ヶ月 <現状(参考)> <全国平均 13.2ヶ月> ②更新年次 7産 (2) 生産コスト 販売子牛1頭当たり 319千円 <全国平均 432千円> (3) 労働生産性 経産牛1頭当たり 50時間 <全国平均 106時間(直接労働時間)>		
8 労働時間	総労働時間:4,325時間 (1) 労働構成別 ①主従事者2,000時間×1、②補助従事者800時間 ③雇用 1,525時間 (2) 作業体系別		
9 経営指標	(本業)	(複合)	(合計)
(1) 粗収入(販売額)	1,000万円 (383千円/頭×26頭)	1000万円	2,000万円
(2) 経営費	800万円 (内訳):①飼料費350万円 ②建物農機具費50万円 ③人件費100万円等	600万円	1,400万円
(3) 所得	300万円 <全国平均 130万円>	400万円	700万円
(4) 主たる従事者の所得	200万円	400万円	600万円
10 その他 (経営の特徴等)	・1年1産の実現等効率的な飼養管理を図りつつ、他作目との複合により安定化を図る経営。 ・飼料作付面積の増加に当たっては、水田放牧の利用によって新たな投資及び飼料生産労働時間を抑制。 ・家畜排せつ物については、堆肥化処理を行い、経営内還元。 ・		

平成27年度に経営指標において想定している畜産経営の詳細について

経営類型	肉用牛繁殖 繁殖雌牛80頭	【家族経営】
1 想定地域	都府県(九州)・畑又は水田	
2 経営規模	繁殖雌牛80頭(30頭からの規模拡大)	
3 経営の概況 (1) 家族構成 (2) 飼養頭数 (3) 耕地面積 (4) 生産量	①従事者: 本人、妻(又は後継者) 総飼養頭数 153頭 ①繁殖雌牛80頭、②育成牛17頭 飼料畑25ha(うち22ha借入) 子牛出荷頭数 69頭	
4 技術体系 (1) 飼養管理方式 (2) 飼料給与方式 (3) 排せつ物処理	連動スタンション・群飼 分離給与 ふん尿混合堆肥化(堆肥舎利用)	
5 飼料生産 (1) 経営内飼料自給率 (2) 生産・利用体系 (3) 作付実面積 (延べ面積)	60%(粗飼料給与率80%) ①生産 : イタリアン(13ha)ほか コントラクターによる作業受託 ②利用 : サイレージ、乾牧草 25ha (25ha)	
6 施設・機械装備 (1) 建物 (2) 機械 (3) その他	牛舎488㎡(新設)、293㎡(既設)、パドック113㎡(新設)、68㎡(既設) たい肥舎300㎡ フロントローダー、トラクター、自動給餌機(牽引式) パソコンを利用した個体・経営管理	
7 生産性指標 (1) 生産技術 (2) 生産コスト (3) 労働生産性	<現状(参考)> ①分娩間隔 12.5ヶ月 <全国平均 13.2ヶ月> ②更新年次 7産 販売子牛1頭当たり 308千円 <全国平均 432千円> 経産牛1頭当たり 35時間 <全国平均 106時間(直接労働時間)>	
8 労働時間 (1) 労働構成別 (2) 作業体系別	総労働時間: 2,800時間 ①主従事者2,000時間×1、②補助従事者800時間 ③雇用0時間(他 コントラクター 787時間)	
9 経営指標 (1) 粗収入(販売額) (2) 経営費 (3) 所得 (4) 主たる従事者の所得	2,600万円 (383千円/頭×69頭) 2,000万円 (内訳): ①飼料費1,000万円、②建物農機具費150万円、 ③人件費100万円 等 700万円 <全国平均 130万円> 600万円	
10 その他 (経営の特徴等)	・地域の立地条件を活かして規模を拡大し、効率的な群飼方式により1頭当たり労働時間を低減し、生産性の向上、ゆとりを実現する経営。 ・飼料作付面積の増加に当たっては、コントラクターの利用によって新たな投資及び飼料生産労働時間を抑制。 ・家畜排せつ物については、堆肥化処理を行い、経営内還元。 ・	

平成27年度に経営指標において想定している畜産経営の詳細について

経営類型	肉用牛繁殖 繁殖雌牛200頭	【法人経営】
1 想定地域		
2 経営規模	繁殖雌牛200頭(80頭程度経営3戸の協業化)	
3 経営の概況 (1) 家族構成 (2) 飼養頭数 (3) 耕地面積 (4) 生産量	①従事者: 本人×3、妻(又は後継者)×3 総飼養頭数 379頭 ①繁殖雌牛200頭、②育成牛41頭 飼料畑80ha(うち73ha借入) 子牛出荷頭数 176頭	
4 技術体系 (1) 飼養管理方式 (2) 飼料給与方式 (3) 排せつ物処理	連動スタンション・群飼 分離給与 ふん尿混合堆肥化(堆肥舎利用)	
5 飼料生産 (1) 経営内飼料自給率 (2) 生産・利用体系 (3) 作付実面積 (延べ面積)	60%(粗飼料給与率80%) ①生産 : イタリアン、野草地等放牧利用(48ha)ほか ②利用 : サイレージ、乾牧草、WCS 80ha (80ha)	
6 施設・機械装備 (1) 建物 (2) 機械 (3) その他	牛舎1,075㎡(新設)、1,075㎡(既設)、パドック225㎡(新設)、225㎡(既設) たい肥舎348㎡ フロントローダー、トラクター、自動給餌機(牽引式)、哺乳ロボット パソコンを利用した個体・経営管理	
7 生産性指標 (1) 生産技術 (2) 生産コスト (3) 労働生産性	<現状(参考)> ①分娩間隔 12.5ヶ月 <全国平均 13.2ヶ月> ②更新年次 7産 販売子牛1頭当たり 279千円 <全国平均 432千円> 経産牛1頭当たり 30時間 <全国平均 106時間(直接労働時間)>	
8 労働時間 (1) 労働構成別 (2) 作業体系別	総労働時間: 7,457時間 ①主従事者2,000時間×3、②補助従事者400時間×3 ③雇用 257時間	
9 経営指標 (1) 粗収入(販売額) (2) 経営費 (3) 所得 (4) 主たる従事者の所得	6,700万円 (383千円/頭×176頭) 4,750万円 (内訳): ①飼料費2,500万円、②建物農機具費300万円、 ③人件費200万円 等 2,150万円 <全国平均 130万円> 650万円(1人当たり)	
10 その他 (経営の特徴等)	・地域の立地条件を活かして規模を拡大し、効率的な群飼方式により1頭当たり労働時間を低減し、生産性の向上、ゆとりを実現する経営。 ・飼料作付面積の増加に当たっては、野草地等放牧の利用によって新たな投資及び飼料生産労働時間を抑制。 ・家畜排せつ物については、堆肥化処理を行い、経営内還元。 ・	